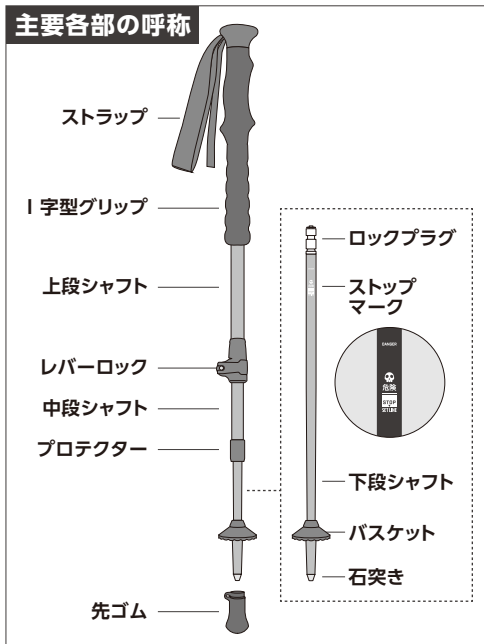


主要各部の呼称



本製品についてのお問合わせ

TEL.0267-67-3324 (お客様相談室)

株式会社シナノ 〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1

ご使用時には、自然を守る心配りも忘れずに!

HIKING & TREKKING STICK

MY TREKKING AL 取扱説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

本製品は、登山、ハイキングの歩行補助用ステッキとして設計・製作されております。

本製品を正しく安全にご使用頂くために、この説明書は必ずお読みください。またいつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

この説明書以外に、付属の説明書やタグ等がある場合は、そちらもよくご覧になり、本取扱説明書と一緒に保管をお願いします。

SINANO

since 1919

S_MTA2410

長さ調節の手順

1 「下段シャフト」をストップマークまで引き出し固定する。

- ① 中段シャフト側を握る。
- ② 下段シャフトを反時計回り(左方向)に回すとゆるみます。
- ③ ストップマークまで引き出し、下段シャフトを右に回し、しっかりと固定してください。



ストップマーク (SET LINE) ▶
より先は出さない

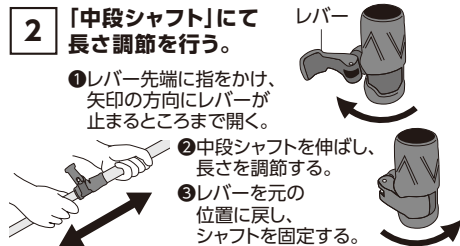
中段シャフト ◀ ▶ 下段シャフト

⚠ 注意

1. 過度の力による締め付けはロックプラグの故障の原因となりますので、おやめください。
2. 締め付けの際はシャフトをしっかり持って力を加えてください。
3. 使用前後及び使用中に、ロックプラグが締まらなくなる、または緩めることができない場合は故障です。使用を中止し、弊社までお問い合わせください。

2 「中段シャフト」にて長さ調節を行う。

- ① レバー先端に指をかけ、矢印の方向にレバーが止まるまで開く。
- ② 中段シャフトを伸ばし、長さを調節する。
- ③ レバーを元の位置に戻し、シャフトを固定する。



固定強度の調節方法

シャフトが縮んでしまう場合は、レバーを完全に開けた状態で時計回りに360°回転させて調節します。

※レバーを回してゆるめすぎるとレバーパーツが外れる恐れがあります。



ご使用の前には必ず固定強度を調節してください。

⚠ 注意

ストップマークを超えて使用しないでください。このマークを超えると、強度が落ち危険です。

ストップマークより先は出さない ▶

上段シャフト ◀ ▶ 中段シャフト

⚠ 危険! お取り扱い注意

1. 本製品は登山、ハイキング用に設計・製造されています。これ以外の目的や、高齢者の歩行補助や松葉杖などの医療用の用途に使用しないでください。転倒などの恐れがあります。また、登山用ピッケルの代用、岩登りの支点としては絶対に使用しないでください。
2. **ポールに全体重を掛けることはしないでください。**
3. 落雷の恐れのある時は使用しないでください。
4. シャフトは横方向の力に対して破壊しやすいので石突きを岩の割れ目や隙間に入れたり、ねじったりしないでください。
5. 腰掛けなどに使用しないでください。
6. シャフト強度を超えて使用すると、折れたり曲がったりして危険です。またシャフトの曲がりにより伸縮ができなくなります。
7. 移動時(バス、電車内など)や保管時は、石突きに先ゴム又はこれに代わるものを必ず装着し、安全の確保をしてください。
8. 振り回したり、他の人が危険な状態になるような行為はしないでください。使用中も前後の状況に配慮しご使用ください。
9. 滑り易い地面では先ゴムを外してご使用ください。石突き部はその性質上鋭利な形をしていますので、充分気をつけて取扱をお願いします。
10. 先ゴムがすり減った時は、速やかに交換をしてください。その際は、本製品指定の専用パーツをご使用ください。
11. 先ゴムは着脱可能です。移動中や使用中に紛失しないようご注意ください。



⚠ その他の長さ調節に関する注意事項

1. 長さ調節後は、シャフトを十分に固定し、軸方向に圧縮力をかけて、シャフトが縮まないことを確認してからご使用ください。また、長さ調節の際に十分に固定しても、シャフトが縮むことがあります。長時間使用した時や大きな衝撃の際は、特にご注意ください。
2. 使用時の状況に合わせ、使い易い長さに調節してご使用ください。極端に不適切な長さの状態でご使用することは非常に危険です。
3. お子様や年配の方がご使用の際は、周囲の方が、シャフトが固定状態にあることを確認してください。

次の点にもご注意ください

1. 使用時は樹木などを傷つけないように配慮してください。
2. 使用しないで持ち運ぶ時は、袋などのケースに入れるか、各シャフト同士必ず固定し、ザック等に収納してください。固定せず持ち運ぶと、シャフトが抜け落ち、紛失する恐れがあります。
3. 破損後などの廃棄に際しては、各行政の指示に従い、不燃物として、必ず分別廃棄してください。

お客様による修理、分解、改造は
大変危険ですので、
絶対にしないでください。

保守・点検について

1. 使用前後及び使用中にも本製品に異常がないか各部を十分に点検してください。その際、次のような状態を発見したときは使用しないでください。
 - シャフトのキズ、変形、ひび割れなど
 - 各パーツ(“主要各部の呼称”図参照)のゆるみ、亀裂、変形など
2. 使用後はシャフトを抜いて、水分を拭き取り、内部を乾燥させてから保管してください。(雨、雪などで濡れた時は特に注意。)そのまま放置すると、内側が錆びて動きにくくなります。
3. 油やオイルなどの潤滑剤は絶対に使用しないでください。シャフトが滑り固定できなくなります。
4. 熱源の近く(ストーブなど)には置かないでください。グリップやストラップなどが変形したり、ヤケドをする恐れがあります。また、極度に低温になるところに置くと、シャフト部が凍ったり、各部の機能が低下することがありますのでご注意ください。
5. 砂礫帯などで使用した後は、シャフトを抜いてきれいにし、十分に乾燥させてから保管してください。そのまま放置すると内部に残った砂等により正常にシャフトが固定できなくなる恐れがあります。
6. 保管する時は直射光の当たらない、屋内の乾燥した場所に保管してください。
7. ポールを長期間保存するとき
 - ①シャフトをぬき、内部を乾燥させてから保管してください。そのままにしておくでシャフト内部が錆びて、動きにくくなることがあります。
 - ②レバーロックはレバーを開け、完全にゆるめた状態で保管してください。
8. 高温になる場所(夏場の自動車の中など)には放置しないでください。そのまま放置すると部品が変形し、固定できなくなることがあります。

バスケットについて

装着されているバスケットは取外しができます。

⚠ 注意

1. バスケットは、軟らかい地面(ぬかみ、深い砂利道、雪道など)で、ポールの沈み込みを防ぐためのものです。使用時の状況に合わせてご使用ください。
2. 装着されているバスケットは、雪山用ではありません。雪山で使用する場合は、弊社または専門家の方にご相談ください。
3. 歩行中に木の枝や石の間に、バスケットが引っ掛かることがあります。このようなときは無理にポールを引張ったりしないでください。バランスを崩し、思わぬ事故につながる危険があります。
4. バスケットを取付けるときは、確実に取付けてください。中途半端な取付けは危険であり、紛失の原因ともなります。また、使用中も時々点検をしてください。

アフターサービスについて

この製品や部品の修理等については、弊社までお申し出ください。修理の際には改良品や同等の代替品を使わせて頂くことがあります。